

## 【地域クラブの作り方 その1】 (今後、連載していく予定)

### 地域クラブの作り方 1

(既存団体が中心に設立タイプ)

### 地域クラブの作り方 2

(ゼロからスタートで設立タイプ)

### 地域クラブの作り方 3

(既存団体が集まって設立タイプ)

### 共通項

#### 【仲間(ドイツ語 Gemeinschaft)を集める】

地域の中で地域の活動について考えている人

#### 【同じ方向を向いている仲間】

理念を議論して共有できる仲間

- #### 【学校部活動 → 地域クラブ活動へ改革】
- 行政担当部局も教育委員会→スポーツ振興部局へ  
群馬県内は、総合型地域スポーツクラブが少ないため、  
今後、県内各地で地域クラブ設立が必要となります。  
そこで、私が経験した地域クラブ設立の手順を伝えます。
1. 同じ方向を向いている仲間を集める
  2. 仲間で妄想を働かせ、夢を語る。
  3. 夢を語る中で地域にあった理念を創り出す。
  4. 地域内の事を詳細に把握する。  
人口・児童生徒数・高齢化率・産業等

#### 【大切な事】

議論して決定する

#### 理念と基本方針

#### 【Gemeinschaftとは】

共通の見解または同様の意見を共有する人々のグループ。  
互いにつながっている

## 部活動の地域移行は目的ではありません

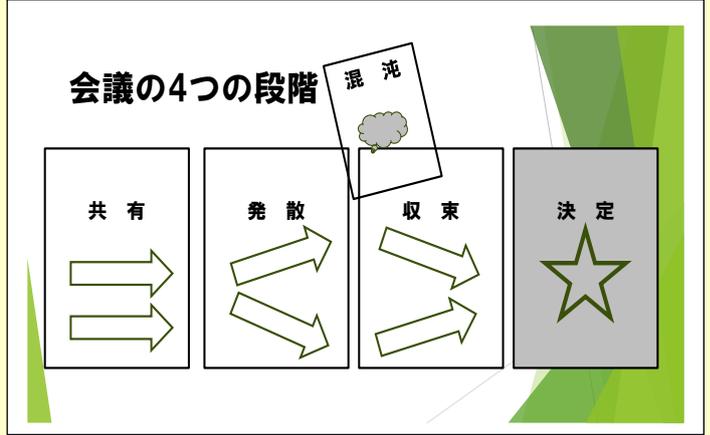
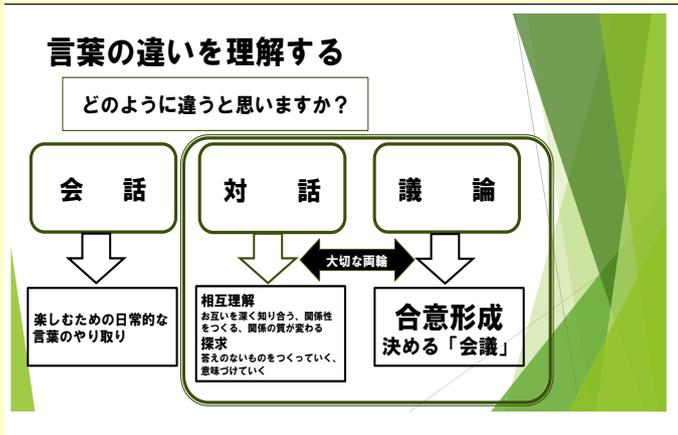
### 手段

部活動の地域移行

### 目的(本質)

地域活性化

# 【理念を構築するために】(合意形成の方法として)



**共有**

- ▶ 参加者の自己紹介
  - お名前・ご所属・自分か自分の所属先の目標1つ
- ▶ 何を話し合う会議なのか(テーマ)を説明
- ▶ なぜそのテーマなのか理由や背景を伝える
- ▶ 今日の到達点(ゴール)を説明

一番最初の場をつくる、ここからつなげていく時間

**発散**

▶ 参加者に問いをなげるかける「考えられる要因は何か？」  
 「なぜ、起こってしまうのか？」などテーマを振り下げる  
 「考えられる要因に対して何ができそうか？」などのアイデアをたくさん出す  
 ★否定批判はしない、発言に責任はない、とにかく数を出す  
 意見だしの方法として、少人数のグループを作る、紙に書くなど

意見を受け止め、引き出していく時間

**収束**

- ▶ 意見が同じもの、似ているもの、多かったものを整理してみる
- ▶ 今日のゴールを軸に意見を振り返り、絞り込む
- ▶ その他、予算、次期などの条件があればそれを確認

意見を整理して、分かち合う時間

**決定**

- ★ 今日話し合ったことを振り返る
- ★ 決まったこと、決まっていないことを確認する
- ★ 次回にやることを確認する

場を閉じる、次回の確認をする時間

## 【理念(ミッション)】

理念は普遍的なこと

## 【基本方針(ビジョン)】

理念を基にして5年間の事業計画等の事

定期的に見直すことが大切

## 【事例として】



### NPO法人新町スポーツクラブ活動理念

- (1) 青少年の健全育成と子どもの体力向上
- (2) いつまでも元気で活動的な中高齢者育成
- (3) 国際国内交流による地域愛の育成
- (4) 地域で育って地域で役立つ心がある人の育成

上記の活動理念を実現するために

- ① 組織作りよりも人材育成からスタート(平成9年当時は、総合型の組織について理解していなかった)
- ② オリンピック・世界選手権・国体に参加できるスポーツ種目で魅力発信
- ③ 高校がない地域性から中学生・高校生のスポーツ教室スタート(地域課題)
- ④ 地域愛を育成するための国際交流事業開始(沖縄交流は、命について考えてもらう事業)
- ⑤ 組織がしっかりする必要があったのでNPOへ、そして、高齢者事業と子育て支援へ